

SECOND Program 2017

アカデミック・オフィス
(2017年4月4日)

SECOND プログラムについて

「SECOND (Cross-Cultural Field Work)」は、1-3 セメスター生(国内学生・国際学生)を対象とし、東南アジア地域での調査活動を通して住民との交流を図り、東南アジアの文化的多様性の理解を目指すものです。プログラムが目標とする学習内容は次のとおりです。

- ① 東南アジアにまたがる多様な宗教文化(上座部仏教、イスラーム、儒教)の理解
- ② フィールドにおける越境的な文化(伝播・接触・触変・フュージョン化)の理解
- ③ 訪問国の政治・社会・経済システムの総合的な理解
- ④ グループ作業を通じた、日英両言語でのコミュニケーション深化

APU では 2007 年度より国内学生向けに「FIRST」プログラムを、国際学生向けプログラムは 2009 年度秋より開始しました。リサーチ活動を通じて地域住民と積極的に交流することで、短いフィールドリサーチ期間で自分の実力がアップしたことを実感した学生もいます。「SECOND」プログラムは、この実感をより高いレベルでの異文化観察・学習に結び付けるために開発されたプログラムです。

プログラム概要

2017 年春セメスターの SECOND プログラムは以下の内容で実施されます。

プログラム名称	SECOND プログラム
科目名	2017 年度カリキュラム:「異文化フィールドワークⅡ」 2011 年度カリキュラム:「特殊講義(共通教養科目)」
単位数	2 単位(2017 年度春セメスターの登録上限単位数には含みません。)
開講言語	両言語
履修登録	2017 年度春セメスター科目として履修登録(大学が登録します。)
成績	通常評価 (A+, A, B, C / F) 成績発表は、2017 年度秋セメスター履修登録修正期間 2 で実施予定
担当教員	近藤 祐一 教授

募集・選考について

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

募集人数	50 名(最少実施人数 15 名) ※最少実施人数に満たない場合はプログラム実施を見合わせる場合があります。
応募資格	1~3 セメスター生(国際学生、国内学生ともに募集)
応募書類	Lime Survey からオンラインで申請 (志望理由を含みます。) ※2017 年度春セメスター FIRST プログラム(韓国)申請書にて、SECOND プログラムの参加を希望した学生は、別途申請する必要はありません。
受付期間	2017 年 4 月 1 日(土)~4 月 26 日(水) 16:30 締切
選考	志望理由書を重視した書類審査により決定します。必要に応じて面接を行う場合があります。
結果発表	2017 年 5 月 12 日(金) 17:00 Campus Terminal 内のあなた宛の重要なお知らせで連絡予定

学習内容と現地実習スケジュール概要

事前学習、現地でのフィールドリサーチと振り返り授業、プレゼンテーションで構成。教室は、選考結果発表時に参加者へお知らせします。

◎実習期間および事前／事後授業スケジュール（確定）

日程	概要	詳細
5月17日 4限	Off-campus Study Program 受講者向けガイダンスセッション	ガイダンス、参加者の心構え、保険加入、健康状況自己申告書等
6月28日 5限	学生向けガイダンスセッション	ガイダンス、授業オリエンテーション
7月5日 5・6限	事前授業1・2	派遣国の概観・文化の理解 派遣地域の研究
7月12日 5・6限	事前授業3・4	リサーチ手法の理解 リサーチトピックの検討
7月19日 4・5・6限	事前授業5・6	リサーチトピックの設定 危機管理、出発前ガイダンス
7月30日（日）～ 8月11日（金）	現地実習	フィールドリサーチ
8月9日（水） 8月10日（木）	事後授業1～4	振り返りディスカッション、 プレゼンテーション、校友企画

◎現地実習行程（予定）

- 1日目 福岡～シンガポール〈空路〉
- 2日目 シンガポールよりジョホールバル（マレーシア）へ移動
ジョホールバルよりA地点へ移動、A地点泊
- 3日目 A地点にて調査活動
A地点よりクアラルンプール（マレーシア）へ移動
クアラルンプール泊
- 4日目 クアラルンプールにて調査活動
クアラルンプールよりB地点に移動、B地点泊
- 5日目 B地点にて調査活動
B地点よりペナン（マレーシア）へ移動
ペナン泊
- 6日目 ペナンにて調査活動、ペナン泊
- 7日目 ペナンよりバンコク（タイ）へ移動〈空路〉
バンコク泊
- 8日目 バンコクよりC地点に移動、C地点泊
- 9日目 C地点にて調査活動、C地点泊
- 10日目 C地点にて調査活動
C地点よりビエンチャン（ラオス）へ移動、ビエンチャン泊
- 11日目 ビエンチャンにて振り返り・成果発表会、ビエンチャン泊
- 12日目 ビエンチャンより福岡へ移動〈空路〉
- 13日目 福岡着

参加条件

1. 経費

プログラム費

- ・参加には146,000円のプログラム費用を支払う必要があります。支払いの期限は5月19日です。振込明細書の提出期限は5月22日です。詳細については、合格者にご連絡いたします。
- ・さらに調査活動に伴う以下の交通費、宿泊費が現地で必要です。
 - シンガポール～調査A地点～クアラルンプール間の移動と宿泊（1泊）
 - クアラルンプール～調査B地点～ペナン（マレーシア）間の移動と宿泊（1泊）
 - バンコク～調査C地点～ビエンチャン間の移動と宿泊（2泊）
- ・また食費や個人的費用は各自の負担です。
- ・福岡空港で集合、解散です。空港までの交通費は各自の負担です。

◎プログラム費について

プログラム費用の内容は以下のとおりです。

プログラム費用に含まれるもの	プログラム費用に含まれないもの (自己負担するもの)
福岡 - シンガポール間航空券 ペナン - バンコク間航空券 ビエンチャン - 福岡間航空券 シンガポール(1泊)での宿泊費用 クアラルンプール(1泊)での宿泊費用 ペナン(2泊)での宿泊費用 バンコク(1泊)での宿泊費用 ビエンチャン(2泊)での宿泊費用 携帯およびWifi レンタル(各グループにつき1台) J-TAS 危機管理システム加入料	左記以外の交通費、宿泊費(40,000円程度) 福岡空港までの国内旅費 食費、個人的な費用等 リサーチ活動に関わる備品、コピー代等 海外旅行保険料(指定;標準プラン 5,790円) VISA 取得費用(必要の場合) 予防接種費用(任意)

保険

個人で既に加している場合も、APU が指定する海外旅行保険への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

2. 参加者において必要な手続き等

査証(ビザ)

- ・参加者の国籍によってはビザが必要です。
- ・ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一、ビザが取得できない場合は、やむを得ずプログラム参加不可となり、その場合、参加不可に関わる一切の費用(キャンセル料金等)は学生本人の負担となります。
- ・ビザは参加学生が個別に申請してください。(申請代理会社の紹介はできません。)
- ・【国際学生のみ】プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではありませんので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

3. 免責事項・注意事項

プログラムの中止や内容の変更

- ・参加者の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。また、引率教員や職員の判断に基づき、参加者のプログラム参加許可が取り消されたりする場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

プログラム参加決定後(最終選考結果発表後)の辞退について

- ・プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になるなど、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行い、参加決定後の辞退は認めません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、予定の調整等の準備を行ってください。なお、プログラム参加決定後(最終選考結果発表後)に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人が所定のキャンセル費用を支払う必要があります。

キャンセル料について

- ・参加者の事情により、プログラム開始前またはプログラム開始後に参加を中止する場合、辞退する学生は、その時点で既に発生した参加者にかかる費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。キャンセル料は、辞退時点で既に発生した諸費用の総額となります。
- ・既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

履修登録における注意事項

履修計画について

- 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はしませんので、自己責任において、プログラムの応募、履修判断を行ってください。
- 2017年度春semester第2クォーターの追試験日は8月8日および8月9日です。本プログラムの実習期間と重なりますので、履修登録の際には十分注意してください。プログラムの参加を理由に追試験を受験できない場合であっても、特別な配慮はありません。自己責任において、プログラムの応募、履修判断を行ってください。

規律事項

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学が実施するプログラム(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任でおこなうこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (5) 緊急に医療手当てまたは手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、派遣先の当該担当者の判断によって処置することに同意すること。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(研修料・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または重大な過失により、APUに重大な損害を与えた場合は、必要に応じ賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で参加者本人に事故や損害が生じた場合、参加者本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負わない。

4. 入国・帰国(海外プログラムのみ)

- (1) 本プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) 本プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出すること。

その他

・ 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号などがあります。

・ 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと決めてください。なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、上記「規律事項」(「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」)の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止等があります。詳しくは、参加決定後のガイダンスで説明を行います。

・ 宿泊

宿泊先では、宿泊施設の規則や指示に従ってください。

問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ Email: first@apu.ac.jp
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス 河野、大久保、小名川

MEMO

Large empty rounded rectangular area for notes, enclosed by a dotted border.